



「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」 実施体制並びに今後の計画

本科目の目的

データサイエンスやAIの現状や役割の理解 / データを活用する際の留意事項について理解 /
データ収集・加工・分析をふまえて自身の考えを可視化

プログラム対象科目と修了要件

【対象科目】「共通特殊講義(データサイエンス概論)(2単位)」※令和4年度以降、「データサイエンス概論」(名称変更)として開講。

【修了要件】対象科目から2単位を修得すること。

今後の計画

令和3年	➢ パイロットケースとして「共通特殊講義(データサイエンス概論)」を開講。
令和4年	➢ 「データサイエンス概論」(名称変更)として開講。全学共通科目に「データサイエンスと数理」区分を新設。
令和5年～	➢ 開講コマ数の充実を図り、学内広報等を通じて、履修者数を増加させていく。 ➢ プログラムを改善・進化させるための特化した体制設置の検討を進める。

特色

#1. 高校数学の知識は不要

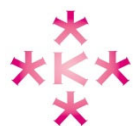
数理的な理解よりもデータやAIによる意思決定の背後にある科学を学び、現代に必須の教養を身に付ける。

#2. アクティブラーニングの授業方法を採用

学部の異なる学生同士で意見や考えを共有したり、自分で手を動かしてデータを加工・分析・可視化することを重視。

#3. データサイエンスの全体像を把握

全学共通科目に位置付けられているが、学んだ内容を各学部の専門分野の学びに活かしていくことができる。



「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」 実施体制並びに今後の計画

全学共通科目改編による「データサイエンスと数理」区分の新設

令和4年度から全学共通科目に「データサイエンスと数理」区分を新設し、「データサイエンス概論」を配置した。

区分名称	科目例
外国語科目	英語Ⅰ、英語Ⅱ、ビジネス英語Ⅰ、ビジネス英語Ⅱ、TOEICⅠ、TOEICⅡ
思想と文化	哲学入門、心理学入門、芸術学入門、倫理学入門、文学入門
歴史と社会	歴史学入門、経営学入門、社会学入門、大阪の経済と文化
健康とスポーツ	スポーツ方法学、スポーツの理論、健康増進の理論
自然と生活	地理学入門、数学入門、物理学入門、化学入門、生物学入門
データサイエンスと数理	データサイエンス概論、統計学入門、現代と統計
キャリア形成科目	キャリアデザイン、インターンシップ、論理的思考入門
共通特殊講義	共通特殊講義(公務員・経済学検定試験基礎)

自己点検・評価体制

各学部のデータサイエンスやAIを専門とする教員と「データサイエンス概論」と各学部学科専攻科目の接続に関して、意見交換等を行い、連携していく。

